

学校法人 加計学園

平成19年度事業報告

【 岡山理科大学専門学校 】

I. 事業の概要（全般）

- (1) 明るく、活気のある学校づくりとして学生の登校時に校長を先頭に担当教職員、学生が学校周辺にて挨拶運動、マナーアップ指導を年間通じて実施しました。また、清掃美化として、1校舎、3校舎玄関を職員が定期的に清掃し、学校全体でオープンキャンパス前と年末に大掃除を終日行いました。
- (2) 昨年度末に2カ所にあった事務室を1カ所に統合し、事務分掌を精査し効率性が高まりました。
- (3) 会議、朝礼等で教職員にコスト意識を啓発しましたが、今後も継続的に続ける必要があります。

II. 学校の概要

1. 学生の定員現員数

(平成19年5月1日現在)

課 程	定員数		現員数		
	入学定員	収容定員	1年	2年	合計
工業専門課程(建築学科昼・夜間部)	90	180	58	48	106
商業実務専門課程(映像情報学科)	—	—	0	0	0
文化・教養専門課程(動物系総合学科2年課程)	150	300	195	184	373
文化・教養一般課程(動物系総合学科1年課程)	30	30	1	—	1
小 計	270	510	248	232	480
建築学科専攻科	10	10	8	—	8
映像情報学科研究科	—	—	0	—	0
動物系総合学科研究科	25	25	6	—	6
合 計	305	545	262	232	494

(単位：人)

2. 学年暦

	春期休業	入学式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	卒業証書授与式
昼間部	4月 1日 ～4月 9日	4月 8日	7月22日 ～8月26日	12月23日 ～1月 6日	3月21日 ～3月31日	3月20日
夜間部	4月 1日 ～4月 5日		8月 1日 ～8月26日	12月23日 ～1月 6日	3月26日 ～3月31日	
岡山理科大学専門学校						

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育・研究活動の進捗状況

- (1) 各学科毎に講習会や資格取得を目指した対策講座（附带教育事業）を実施し、技能、学力の向上を図りました
- (2) 各学科毎に校外研修を積極的に実施し、各種体験（見る、聞く、触る）を通じて座学の実証と生の現場を学び、更なる探求心向上に結びました。
- (3) FD活動の一環として学生アンケートを実施し、改善事項を確認しました。切り口を変えて今後もアンケート実施の必要性を感じました。
- (4) 受託研究を年間 4 件 研究費総額 916 千円受け、産学連携の推進の一助となりました。
- (5) 各種企業、公共施設との連携をとり、多数のインターンシップの実施し就職に結びました。
- (6) 欠席がちな学生へのフォローを実施し退学者減に効果を上げました。なお、引き続ききめ細かいフォローが必要と思われまます。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成19年5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
岡山理科大学専門学校	201	0	30

(単位：人)

卒業者数等一覧

	卒業 者	修了 者 ・	退学 者	除籍 者	休学 者	留年 者
岡山理科大学専門学校	241	24	3	2	4	

(単位：人)

2. 学生の募集・広報

受験生等に対して本校の教育内容、施設設備、入試内容をよりよく理解していただくためにオープンキャンパスを年間25回実施致しました。

この他、広報活動の充実を図り、学生募集の拡大に努めました

3. 就職活動状況

- (1) 就職への意欲を高めるため毎月校内で就職ガイダンスを行い、個別に進路相談と模擬面接、就職試験指導を行いました。
- (2) 春先から会社説明会、会社訪問を積極的に参加するよう指導を行い、就職についての啓発を行いました。
- (3) 校内で就職担当教員と就職会議を毎月行い学生の動向をチューターが把握できるよう環境整備を行いました。
- (4) 秋口から外部講師による就職ガイダンスを実施し、また業者主催の就職ガイダンスへの出席を呼びかけました。
- (5) 2月から1年生対象に就職ガイダンスを実施しました。

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	18年度決算額	19年度決算額
学納金収入	398,993	391,312
補助金収入	497	401
その他収入	8,767	7,475
帰属収入合計	408,257	399,188
基本金組入額合計	△ 16,617	△ 414
消費収入の部合計	391,640	398,774
人件費	308,415	241,681
教育研究経費	106,877	99,435
管理経費	34,282	32,363
その他支出	2,279	2,673
消費支出の部合計	451,853	376,152

○収支改善対策の具体的取組と効果

授業料の値上げ、採算性の悪かった学科の閉鎖、教研、管理経費の節約により、収支決算数字が改善されました。